

シネマズライフ

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはまずいぞ！】『半グレvsやくざ』

『ジラ×メカゴジラ』を思い出した。擁するに、新しいからいつてもんでもなし…って事？

てぶ壊れてしまったそうなの。あゝあ、朝早くから見に行くとつもりだったのに！

昔、『マークスの山』という映画があった。こんな映画だ。

暗い山のふもと。少年はとぼとぼと山を歩いていった。ひとり…たった一人…

東京・暴力団員の島山が殺された。早速、警視庁捜査一課七係の合田が捜査に乗り出した矢先、浩務省の刑事局

刑事課長の松井浩司が殺され、その殺害方法が島山と酷似、合田は同一犯人を疑う。



映画の風景 日本の風景

※ 南アルプスの山々 ※

一方、弁護士小林原という男が「MARKS」と名乗る男から脅迫されていた。実は、小林原は殺された松井と学生時代・同じ山岳舎に入っていた。やがて、合田はその事実を知り…

原作は高村薫のミスデリー小説。暗い山の風景と、どんよりとした小説の登場人物の黒い思惑が不気味だ。反して、実際の山の美しさが対比され、人間の心の奥の暗闇はやはり怖い。

先日、私が訪れた北アルプスの山の風景もとても美しい。しかし、そこには自然を守るつとめる山と人間の戦いでもあった。映画では山を犯す人間が登場する。山は多くの人々を受け入れるが、山を汚すつとめる人間は許さない。山々は正直なのだ。

『マークスの山』1995年 日本 監督：崔洋一 原作：高村薫 出演：中井貴一 萩原聖人 古尾谷雅人 名取裕子 小林穂穂 角野卓造 岸部一徳 小林穂穂・角野卓造・岸部一徳などいぶし銀の役者たちが『悪いやつら』に。本当にそう見えるからすごいです。

コラム 「ああ、見たかった！」と思う件

去年の宇宙のイベントは「金星凌日」と「金星の太陽前面」という事でワクワクしたものです。

そこで、最近の「アイソン彗星」の到来！

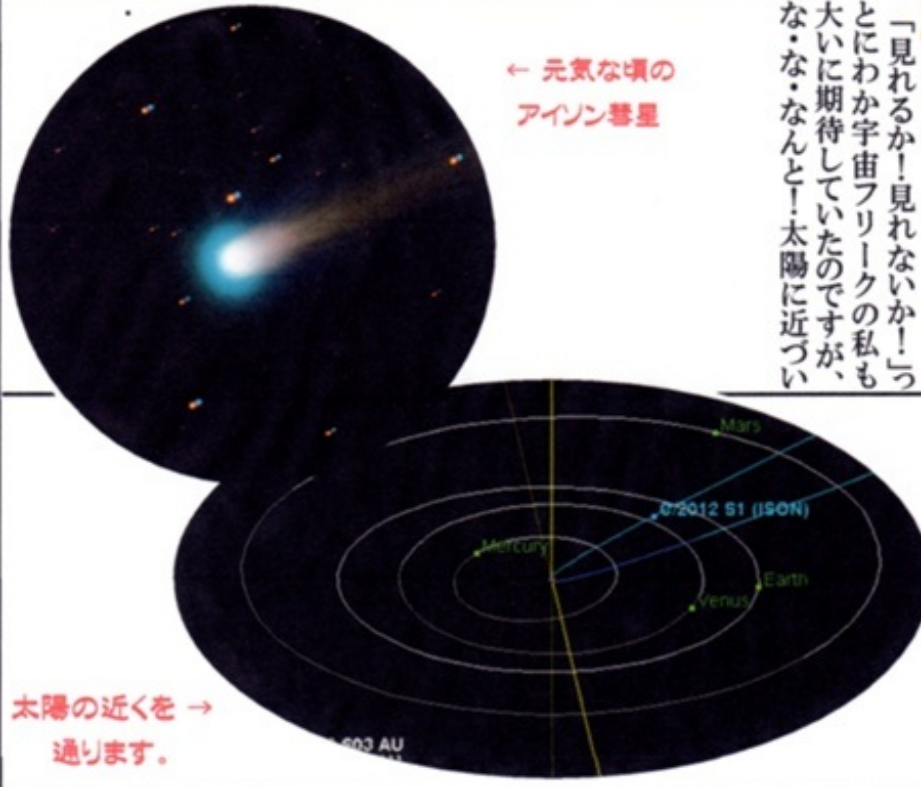
「見えるか！見れないか！」とにわか宇宙フリークの私も大いに期待していたのですが、な・な・なんと！太陽に近づい

てぶ壊れてしまったそうなの。あゝあ、朝早くから見に行くとつもりだったのに！

しかし、恐るべきは太陽の迫力！彗星も壊してしまうとはねえ。

やっぱり、宇宙の神秘はすごいわ！

← 元気な頃の
アイソン彗星



太陽の近くを →
通ります。

【最近のこれはお見事！】『あさひるばん』子供が主人公の映画かと思いきや、大人のおっさん三人のお話。まあ、これはこれでいいかも。



CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。()m

『ミニミニ大作戦』

スターチャンネル2・3

2003年 アメリカフランスイギリス

監督:F・ガイリー・グレイ

出演:マーク・ウォールバーグ シャーリーズ・セロン エドワード・ノートン
ドナルド・サザーランド セス・グリーン

12月9(月)14:00(吹)【チャンネル3】
12月20(金)23:00 【チャンネル2】
12月23(月)7:10(吹)【チャンネル3】
1月7(火) 深夜 26:45 ⇒ 1月8日(水)4:45(吹)【チャンネル3】
1月13(月)8:45(吹)【チャンネル3】
1月16(木)23:15 【チャンネル2】
1月22(水)10:00 【チャンネル2】

イタリア・ベニス。チャーリーは、スティーヴ、のライル、ロブ、レフト、そしてベデラン金庫破りジョン達を集結して、50億円の金塊を盗む事を計画、抜群の作戦で成功する。ところが、仲間のスティーヴの裏切りで金塊を横取りされた上、尊敬するジョンを殺される。一年後、スティーヴを省き仲間達を再度集結。金庫破りはジョンの娘・ステラを加え金塊奪還を狙う…。

冒頭の金塊強奪シーンが秀逸で、思わず「おお〜」って感じだった。ちょっと、難なのはチャーリー役のマーク・ウォールバーグがどうみても泥棒には見えないところかな。かわいいミニクーパーが活躍するのも見どころ。一度、運転してみたくくなります。

『山猫』

IMAGICA BS

1963年 イタリア

監督:ルキノ・ヴィスコンティ

出演:パート・ランカスター アラン・ドロ
クラウド・カルディナーレ オッタヴィア・ピッコロ

12月12日(木)25:45 ⇒ 12月13日(金)1:45
12月21(土)10:15 12月30(土)8:45

イタリア・シシリー島のサリナ公爵は、イタリアに新政権が誕生し新しい時代の到来にショックを受けていた。周辺で新しいブルジョア達も多くなり、公爵は自分の立場を測りかねていたのだ。

そんな中、別荘を訪れたサリナ家をその村の村長が歓迎会を開く。村長も新しいブルジョアの一人だ。ところが、歓迎会では村長の娘・アンジェリカに甥のタンクレディが彼女の美しさに魅かれ二人は恋仲に。サリナ公爵は、そんな彼らを見て時代の変化を痛烈に感じる…。

原作はイタリアの貴族・ジュゼッペ・ランペドゥーサが自らの祖先の事を書いた小説で、ピスコンティ監督も同感するところもあったのだろう。貴族の描写が、正にリアルで美しくもあり、醜悪でもある。

アメリカ人のパート・ランカスターだが、ハマっているのはさすが、アラン・ドロはギャラの事で採めて監督とは以後、絶縁状態になったそうだ。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしくお聞かせください。よろしくお願ひします!!

★発行予定は第一・三金曜日、次回発行は12月20日です。

1987年 アメリカ 制作監督脚本: ジェームズ・L・ブルックス 「ブロードキャスト・ニュース」 出演:ウィリアム・ハート ホリー・ハンター アルバート・ブルックス



↑トミノ倒しの牌。さて、映画とどう関係があるのガ!

世界は今でもニュース番組の制作は日々戦いの連続である。それは、80年代も同じ事だ。ワシントンテレビ局のプロデューサー、ジェーンとニュースライターのアーロンは、お互いを励ましあう仲だ。ある日、ジェーンは地方テレビ局キャスター・トムと知り合い、自信なさげのトムを励ましませす。そんな彼は、エンターテインメント局の仕事をする事に。トムは、活気ある都会のテレビ局に驚くが、やがて実力を認められ花形リポーターに。しかし、それはジェーンとアーロンの協力もあつた。

やがて、ジェーンはトムが気になる存在になつていった。リポーターとして、また、テレビ局の一員として認められていくトム。ある日、レイプされた女性へのレポーターで涙する様子が評判になり、ジェーンも喜ぶが、そこにはある秘密が隠されていた。今でも激化するニュースの世界を描く。そこで働く人々の葛藤と喜びは今でも健在。その生き生きとした様子は、以前テレビ局で働いていた監督・ジェームズ・L・ブルックスならではの描写だ。特に、ジェーンのもデルは、演じたホリー・ハンターにそっくりだ。都会で働く女性の厳しさは実にリアル。これからは働く女性に見てほしい映画でもあります。

【編集後記】

★早い早いと回りの人達といたいながら過ぎた。12月には寒く、寒い。今までは寒く、寒い。今年もラストスパート、お体に気を付けてお過ごし下さい!!



このとら写真かわいいよね。

シネマズライフ52号

発行人: 貴樹諒音

発行日: 2013年12月6日

cinemaz-life@movie.nifty.jp

告知ブログ

http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフ－cinemaz-life－ 5 2号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

《スターチャンネル2・3》

『ミニミニ大作戦』

《IMAGICA BS》

『山猫』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。

m(_)m ダウンロードで鑑賞できます。m(_)m

http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.